

- 鳥取県東部の白ネギは、25年程前に導入され、一時期は面積62haとなったが、農家の高齢化等により規模は縮小し、平成17年には26haまで減少。
- このため、JA、試験場等関係機関と**野菜プロジェクトチーム**を結成し、振興方策の検討と栽培技術改善等に取り組んできた。
- 指導体制の強化**、**管理技術の徹底**、**調製作業の効率化**が図られ、栽培面積も徐々に回復し(平成25年 42ha)、更に産地化を図る気運が高まり、平成26年から**「いなば白ねぎ増産プラン」**に取り組むこととなった。

具体的な成果

1. 生産指導体制の強化支援

■平成25年4月、指導関係者で構成される**「白ねぎ指導協議会」**が立ち上げられた。

2. 栽培管理技術の徹底

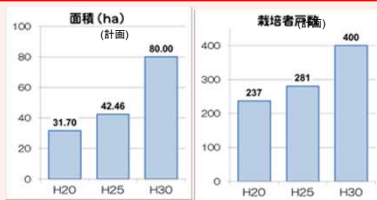
■夏越しの管理について理解を深めるとともに留意点を意識して管理にあたる農家が増加し**出荷期が前進化傾向にある**。

3. 出荷調製作業の効率化

■重点の新規栽培者について**調製作業時間が30～40%減少し効率化が図られた**。

4. 生産者数の増加、面積の拡大

■平成25年度 栽培面積42.4ha、281戸



■地域全体で白ネギ振興への気運も高まり、平成26年度から**「いなば白ねぎ増産プラン」**に取り組むこととなった。

5年後(平成30年度目標 作付面積80ha)



いなば白ねぎ増産プラン



鳥取いなば農業協同組合

普及員の活動

1. 支援活動の体制

■平成22年度から主要野菜品目の振興のためJA、隣接の普及所、試験場で**プロジェクトチームを結成**
■具体的な振興方策を検討し関係機関で**共通認識を持って活動**

2. 農家意向調査の実施支援

■**農家の意向、課題を把握**し、解決方策を検討

3. 作型の拡大

■秋冬ネギ(11～1月出荷)に集中しているため**作型を拡大**を目指し、秋冬ネギ(10月出荷)、春ネギ、夏ネギについて**現地調査・実証**を行い全農家へ紹介

4. 栽培・出荷調製作業の省力化

■機械導入による省力化について、事例調査や導入検討を支援
■出荷調製作業について、作業場環境の改善、調製の効率化について**地域内事例調査の実施と改善マニュアルの作成**

5. 新規栽培者への重点的栽培技術支援

■新規栽培者への**重点的な巡回指導**

普及員だからできたこと

1. 関係機関と連携し活動を行う事で、次第に連携のネットワークも広がり、振興プランの樹立と栽培技術改善につながった。
2. 出荷調製マニュアルを作成したことで、調製作業能率を効果的に支援可能となった。